

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市南老人福祉センター	所在地	南区石山78-68
開設時期	平成7年4月	延床面積	1,451㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、教養講座室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよい合うサービスの提供②誰もが安心して等しく利用できる施設づくり③サービスの質の向上と改善④地域から愛され信頼される施設づくり⑤効率的な運営の推進の5つの基本方針を策定している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼札幌市社会福祉協議会の5つの基本原則の「平等性」に基づき、平等利用確保のために「だれもが安心して等しく利用できる施設づくり」という方針を策定し、平等利用に係る心構え及び重点取組項目を事務室内に掲示するとともに、研修やミーティング等により情報を共有し、関係法令の遵守の徹底や利用者の視点に立ったサービスの提供を行なった。定員制教養講座受講生の決定において、公開抽選を実施するなど平等性、透明性を確保した。</p>	<p>当法人の基本理念及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>平等性の基本原則に基づき、適切な対応ができた。</p>	<p>A B C D</p> <p>仕様書に沿った適切な管理がなされている。</p>

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼内部研修や館内周知文などで職員、利用者に協力を呼び掛けるなど、エコ活動に取組み、光熱水費等を削減することができた。
- ▼社会福祉協議会の「環境保全行動計画に関する要綱」及び同マニュアルに基づき、各職員が環境負荷低減に向けた取組みを実践した。
- ▼引き続き、消耗品や備品等はグリーン購入ラベル指定品を購入した。
- ▼センター周辺の落葉を袋詰めにして希望者に配布し、肥料に再利用するなど環境配慮の取組みを行った。
- ▼札幌市環境マネジメントシステムに基づき、各種帳票を提出した。
- ▼廃食油回収ボックスを設置した。
- ▼札幌市の施策に基づき、ウォームシェアの取組みを継続的に行った。
- ▼車両の運転時は緩やかな発進等エコドライブを実践した。

環境負荷低減や市の施策に基づく各種取組みにより、環境への配慮を行った。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼管理業務等仕様書に基づき責任者及び従事者を配置している。
- ▼指揮命令系統、業務分担等を事務分掌にて定めている。
- ▼研修計画を作成し、更なるサービス向上のための職員研修を実施するとともに、その内容をミーティング等において、全職員に周知するなど人材育成に努めた。

「管理業務等仕様書」に基づき必要な従事者を配置し、その内容を一覧できる組織図を作成している。また、引き続き研修や、ミーティング等により職員の資質の向上に努めた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼当法人が管理する市有施設の施設長が一堂に介し、各施設が抱える諸問題等について検討を行う定例施設長会議を始め、各担当者ごとの会議により、的確な情報交換を行なうとともに、情報ネットワークシステムにより、本部から各施設間に至るまで、必要な情報を迅速に共有した。
- ▼利用者の身体(認知)状況等の見守りケアを行い、必要に応じて関係機関と連携し、情報共有を図っている。
- ▼万一の災害に備え、水、非常食を常備している。
- ▼当法人の南区内事業所と月1回連携会議を行い、地域内におけるゴミ屋敷の問題や閉じこもりの予防等処遇困難ケースにおいて、当センターとして地域のためにどのように関わることが出来るかの検討や、現在取り組んでいる事業の報告、今後の予定、実績報告などの情報交換を行っている。また、南区社会福祉協議会と連携し、ボランティア養成に関する事業を実施している。

必要に応じて職員の情報交換の場を設け、外部研修参加後、職員ミーティングなどでその内容を職員全員に周知することや利用者個別情報やケア検討内容を共有し、良質なサービスの提供に努めた。

関係機関と緊密に連携し、様々な地域の問題の迅速な情報共有を行うことが出来た。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼施設保全業務、清掃業務、機械警備業務、電気工作物保安管理業務、除排雪業務、施設管理業務について第三者に対する委託を行い、何れも仕様書どおり適切に業務を行った。

各業務内容について、適宜打合せや協議を行ない、仕様書に基づき業務を履行させ、適切に管理、監督を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 12月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画について ・平成28年度上半期の事業報告について ・意見交換「老人福祉センターを拠点とした今後の取組み」について
<p><協議会メンバー></p> <p>芸術の森地区見晴町内会長、老人クラブ会長、芸術の森地区社会福祉協議会副会長、時間外地域開放運営委員会喫茶部長、石山東小学校教頭、南区第1地域包括支援センター長、教養講座講師、センター利用者、札幌市高齢福祉課係長、同職員、南老人福祉センター館長、同事務職員</p>	

仕様書に基づき、運営協議会を設置、開催し、活発な意見交換を行なった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、「資金運用規程」により、資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定められており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行っており、定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、日常的に現金実査を行っている。

法人による適正な資金管理を行なうとともに、外部監査や内部監査に加え、日常から通帳、帳票類と現金照合を行うなど適正な管理を行った。

▽ 要望・苦情対応

▼要望・苦情対応については、「苦情解決に関する規程」、「苦情解決処理要領」を作成し、適切に受け及び対応するとともに、その内容を職員に周知している。また、第三者委員会を設置して、定期的に報告している。

要望、苦情等については、実施可能なものについては、迅速かつ適切に対応した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼セルフモニタリングについては、アンケート調査や常設の投書箱の設置、利用者懇談会等による意識調査等を行ない、その結果は、館内掲示板に掲示した。

▼記録・報告については、定められた基準に基づき、適正に作成し、期日までに報告を行なった。

▼札幌市の検査については、11月、3月に実施し、重大な指摘事項はなかった。また、指導事項については速やかに改善を行った。

アンケート結果や投書による回答を館内に掲示するとともに、ミーティング等に諮り改善を行なった。また、日常の記録等については、適正に作成するとともに、期日までに報告した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼就業規則等については、各種関係法令を遵守するとともに、各職員に過度の負担がかからないよう勤務割等に配慮した。</p> <p>▼就業規則を備え付け、職員がいつでも閲覧できるようにしている。</p> <p>▼札幌市ワークライフバランスの取り組みを推進し、働きやすい職場環境づくりに努めている。</p>	<p>関係法令を遵守し、勤務割や休暇取得の推進等就業しやすい環境に配慮した。</p>	<p>A B C D</p> <p>法令を遵守するほか、職員の勤務希望を聞くなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全確保については、自然災害、防災、防犯、事故等緊急非常事態に備え、利用者の避難・救出その他必要な訓練を定期的実施することで確保している。</p> <p>▼冬期間における駐車場やバス停からセンターまでの近隣歩道の除雪や砂まき等を実施し、安全確保を行った。</p> <p>▼連絡体制については、緊急連絡網に基づき、最短の時間で連絡可能な体制を確保している。</p> <p>▼損害賠償保険は管理業務等仕様書に適合したものに加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼清掃、警備、施設保全(保守点検・修繕)、電気工作物、施設管理、除雪業務、備品管理等について、適切に実施した。なお、清掃、警備、施設保全、電気工作物、施設管理、除雪業務については、第三者委託により実施した。</p> <p>▼備品管理については、日常点検等により、不具合の生じた備品は修繕等を実施するなど、利用に支障のないよう努めた。</p> <p>▼駐車場管理については、職員が定期的に巡回、誘導するなど安全確保に努めた。</p> <p>▼緑地管理業務について、定期的な芝刈りや落葉収集、屋上排水点検等を行い、美観の保持や安全確保に努めた。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼防災(消防)計画、を策定するとともに、8月、3月に自衛消防訓練を行なった。</p>	<p>利用者の安全確保に必要な訓練やサービス向上に向けた取り組みを行った。</p> <p>清掃、警備、施設保守点検等専門性の高い業務は、第三者に委託し行うことで、適切な管理を行うとともに、駐車場、緑地管理についても定期的な巡回等により、安全を確保することができた。</p> <p>仕様書や法令に基づき、適切な防火管理を実施した。</p>	<p>A B C D</p> <p>適切な業務を行い、利用者の安全確保を行っている。施設管理についても良好に行われている。</p>

(4)事業の計画・実施業務	▽ 生活相談等に関する業務		A B C D
			適切な業務を行っている。各業務の満足度も高く、利用者ニーズに沿った内容を実施していると判断できる。
	<p>▼利用者や家族等から生活、福祉サービス、高齢者の疾病予防、食事等に関する様々な相談事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談 582件(目標300件) ・満足度 82.7%(目標80.0%) 	<p>各種相談事業を日頃から声掛けなどにより利用者との良好な関係を築くことにより相談し易い雰囲気を作るなど、積極的に実施した結果、目標件数、満足度を上回ることができた。</p>	
	<p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼利用者の健康維持、増進を図るため、参加・体験型による健康運動等を実施し、看護師等による適切な援助、指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進事業満足度94.9%(目標85.0%) 	<p>介護予防や健康に関する事業を積極的に実施し、介護予防の普及、啓発を推進し、利用者の目標満足度を大きく上回ることができた。</p>	
	<p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼利用者ニーズを反映した多彩な講座を開講し、生涯学習意欲の増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度94.9%(目標80.0%) <p>▼引き続き、申込者が多い講座の定員について、広い講座室への変更や机の配置を見直す等して定員を増やして対応した。</p>	<p>人気講座の定員増や利用者ニーズに沿った講座を新たに開講するなど講座の充実を図り、目標の満足度を大きく上回ることができた。</p>	
	<p>▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務</p> <p>▼利用者の健康増進、生きがい支援を図るため、「卓球」「囲碁将棋」「読書」「ロビーコンサート」「ウォーキング」等のメニューを用意するとともに、センター周辺や石山緑地を会場とした冬のイベントである「雪あかりの祭典」や「子育て支援等地域との交流行事」を実施した。また、福祉週間行事等の、季節や緑地公園を活用した多彩な行事を開催し、利用者間交流が図られた。さらに、世代間交流行事として、札幌市立大学と老人クラブとの合同で施設周辺の美化活動「緑地公園クリーン活動」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度85.8%(目標85.0%) 	<p>「雪あかり」や「夏祭り」など地域との協働行事を積極的に実施し、更なる地域ネットワークづくりの構築が図られたとともに、利用者の満足度を得ることができた。</p>	
	<p>▽ 老人デイサービス事業に関する業務</p> <p>▼送迎、健康チェック、食事、入浴等各種サービスを適切に行った。</p> <p>▼毎日のバイタルチェックでは、定期的な体重測定等を実施するとともに、異常がある場合は、家族、関係機関等に必要な連絡を行った。</p> <p>▼感染症予防のため利用者が施設到着後、手洗い、手指消毒を徹底した。</p> <p>▼身体機能の維持、向上を図るため個別機能訓練を実施するとともに、歩行訓練を希望する方には職員が付添って訓練を行い、身体機能向上に繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度98.0%(目標85.0%) ・延べ利用人数5,549人(前年度5,623人) 	<p>関係法令や仕様書に基づき、適切なサービスの提供を行った。利用人数は前年から僅かに減となったが、個人の希望に沿ったサービスを実施したことが、目標の満足度を大きく上回ることに繋がった。</p>	

	<p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <p>▼各種サークルや地域包括支援センターなどに日程調整を図りながら空室の利用提供を行い、活動を支援するとともに、地域住民の福祉活動、町内会、老人クラブ、福祉のまち推進センター、子育てサロンなどのために空室の開放を行った。</p> <p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <p>▼二次予防対象者等心身機能が低下している方及び介護を要する状態になるおそれのある方に運動器の向上に必要な運動や口腔機能の低下の予防、低栄養状態の改善等の介護予防事業を行った。</p> <p>▼社会貢献として、福祉を志す学生や看護学生等を積極的に受け入れ研修・実習の場としても活用した。</p> <p>▼地域と連携し、「夏まつり」、「雪あかりの祭典」等を合同で実施した。また、地域の各種会議に出席し、連携を深めた。</p> <p>▼利用者からペットボトルキャップ、プルタブ、ベルマーク、古切手を収集し、小学校等に贈呈するなど、社会貢献活動を行った。</p> <p>▼南区社会福祉協議会と連携し、ボランティアに関する情報コーナーの設置や相談会、ボランティア養成講座等を実施した。</p>	<p>地域福祉の拠点として、積極的に空室を開放し、三世代交流が図られた。</p> <p>引き続き、関係機関と連携し、介護予防を中心とした取組みや実習生を積極的に受け入れるとともに、地域との協働事業を実施するなど地域福祉の向上に貢献することができた。</p>																				
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="383 1108 981 1243"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>53,552</td> <td>53,000</td> <td>53,651</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>7,194</td> <td>6,000</td> <td>4,926</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、 取消し0件、 減免0件、 還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼アンケートを実施し、利用者ニーズを把握するとともに、提供するサービスの質の向上・改善を図った。</p> <p>▼センター行事やデイサービス事業、介護予防事業などの案内を近隣町内会等に配布し、利用を呼びかけた。</p> <p>▼広報さっぽろ、町内会や老人クラブの会報紙にセンター行事等の掲載を行うとともに、行事案内を各町内会に回覧した。</p>			H27実績	H28計画	H28実績	全体	人数(人)	53,552	53,000	53,651	浴室	人数(人)	7,194	6,000	4,926	<p>入浴は近隣施設の再開により減少となったが、利用者数全体としては、レクリエーションや地域との協働行事などの実施により、計画数値を上回ることができた。</p> <p>各町内会の行事案内を回覧するとともに、近隣町内会の会合等に積極的に出席し、機会あるごとに施設のPRを行った。</p>	<table border="1" data-bbox="1244 1075 1436 1108"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切な業務を実施している。地域と協同して行事を開催し、利用促進に繋がっている。</p>	A	B	C	D
		H27実績	H28計画	H28実績																		
全体	人数(人)	53,552	53,000	53,651																		
浴室	人数(人)	7,194	6,000	4,926																		
A	B	C	D																			

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ホームページの内容の充実を図るとともに、タイムリーな情報を提供した。 ▼施設内に設置している情報誌等には、札幌市の施策にかかる情報も掲載した。 ▼教養講座募集や行事開催時には広報さっぽろへの掲載を行なった。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>継続指定のため引継業務なし</p>	<p>各種媒体を利用し、積極的にセンターPRの推進を図った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>適切な広報活動を実施している。今後は新たな手法について検討してほしい。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>適切な広報活動を実施している。今後は新たな手法について検討してほしい。</p>			
A	B	C	D								
<p>適切な広報活動を実施している。今後は新たな手法について検討してほしい。</p>											
<p>2 自主事業その他</p>											
<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼飲料の自動販売機及び喫茶コーナーを設置し、各種飲料を販売した。 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃業務を障がい者団体に委託した。 ▼施設修繕及び物品購入は市内業者を中心に発注した。 ▼ウォームシェア等、市の施策に基づく事業を実施した。 	<p>各種飲料を販売し、利用者への利便提供を行った。</p> <p>施設修繕、物品等の購入はほとんど市内企業に発注した。また、障がい者団体やシルバー人材センターを活用するなど市の福祉施策に配慮した。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>利用者の利便性に配慮するとともに、札幌市の施策に沿って運営を行っている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>利用者の利便性に配慮するとともに、札幌市の施策に沿って運営を行っている。</p>				
A	B	C	D								
<p>利用者の利便性に配慮するとともに、札幌市の施策に沿って運営を行っている。</p>											

3 利用者の満足度			
▽ 利用者アンケートの結果			
		A	B C D
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間:平成29年1月13日～1月27日(15日間) ・対象者:期間中老人福祉センターを利用された方及びデイサービスセンター利用者及びそのご家族 ・配布枚数 <ul style="list-style-type: none"> ①老人福祉センター 回収320枚 ②デイサービスセンター 回収61枚 	利用者満足度は、すべての項目において高い水準で得られることができた。また、アンケートのみならず、個別懇談等を通じて、ご利用される方の要望等の把握に努め、改善できるものについては、迅速に対応することができた。	各項目の満足度が高く、各業務とも適正に行われていることがわかる。前年度よりも、満足度が低くなった項目について、理由を分析し、今後の業務に活かしてほしい。
結果概要	【各項目の満足度】 <ul style="list-style-type: none"> ・総合:92.5%(前年度93.8%) ・教養講座:94.9%(前年度94.1%) ・各種行事:85.8%(前年度97.7%) ・相談事業:82.7%(前年度82.9%) ・健康増進事業:85.9%(前年度90.4%) ・職員の対応(受付カウンター業務) <ul style="list-style-type: none"> ①対応95.1%(前年度94.4%) ②接遇96.6%(前年度93.6%) ・デイサービスセンター:98.4%(前年度98.4%) 		
利用者からの意見・要望とその対応	<p><要望>基盤が傷んでいるので更新してほしい。</p> <p><対応>特に傷んでいる2面を新たに購入し、順次更新していく旨説明しご理解いただいた。</p> <p><意見>利用者に春・秋の外周清掃の協力をお願いしてはどうか。</p> <p><対応>以前よりセンターだより等で周知しているが、更に館内掲示や職員の声掛けなどにより周知していく旨説明し、ご理解をいただいた。</p> <p><要望>駐車場を広げてほしい。</p> <p><対応>特に冬期間は、職員の巡回、誘導等を強化するとともに、効率的な駐車やなるべく公共交通機関をご利用いただくようお願いした。</p>		

4 収支状況				A	B	C	D
▽ 収支 (千円)							
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)	ほぼ計画通り執行した 介護保険事業収入は、利用者の健康状態等により変動があるため、計画通りとなるのが難しいが、その中で、支出の削減に努め、収支の均衡を図っている。			
収入	88,926	85,157	▲ 3,769				
指定管理業務収入	88,686	84,855	▲ 3,831				
指定管理費	42,495	42,495	0				
利用料金	44,770	40,739	▲ 4,031				
その他	1,421	1,621	200				
自主事業収入	240	302	62				
支出	88,576	84,983	▲ 3,593				
指定管理業務支出	88,539	84,946	▲ 3,593				
自主事業支出	37	37	0				
収入-支出	350	174	▲ 176				
利益還元	0	0	0				
法人税等	350	350	0				
純利益	0	▲ 176	▲ 176				
▼ 説明 ▼収入の利用料金については通所介護事業の介護保険事業収入が計画した利用者人数を下回ったことにより減収となり計画より4,031千円下回った。 ▼支出については、車両費、燃料費の減および法人全体での本部管理経費の削減により3,593千円減となった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▼ 安定経営能力の維持 ・当事業の財務状況は、人件費の抑制、通所介護事業の介護保険収入があり、収支のバランスがとれており、安定した経営を行っている。		適	不適
▼ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>・年間通して特に大きな事故やトラブルもなく順調に事業を実施するとともに、利用者ニーズに即した取組みを行った結果、アンケート調査の満足度においては、すべての項目で目標数値を達成することができた。</p> <p>・引き続き、地元町内会との協働行事「雪あかり」等を実施するとともに、近隣小学校や特別支援学校の職場体験、札幌市立大学との世代間交流として「緑地公園グリーン活動」等を実施した。さらに連合町内会と協力して「芸術の森地区文化祭」や介護予防事業を実施するとともに、芸術の森地区社会福祉協議会と協力し、子育てサロンを実施するなど、地域に根付いた施設運営を図ることができ、それが施設の認知度を高めることにつながった。</p> <p>・必要に応じて、利用者の見守りケアを行い、家族、南区役所、地域包括支援センター等各関係機関と連携し、情報共有を行い、迅速に対応することができた。</p> <p>・南区社会福祉協議会と連携しボランティア研修会や相談会等を開催することにより、ボランティアの普及、育成に貢献した。</p>	<p>・引き続き、相談事業、介護予防事業等の実施のほか、地元町内会や各関係機関と連携した世代間交流行事や立地環境を生かした各種イベントにより地域での老人福祉センターの認知度を更に高めるとともに、周知活動を積極的に行い利用者拡大を図る。</p> <p>・引き続き、地球温暖化防止対策及び環境への配慮として、環境保全行動を実践し、環境負荷低減の取り組みを推進する。</p> <p>・近隣の各種学校へ職場体験や学習機会の場を提供する。</p> <p>・利用者の身体(認知)状況等の見守りケアを行い、必要に応じて本人、家族、関係機関と連携し、情報共有を図るとともに、早期対応を行っていく。</p> <p>・ボランティアに関する情報提供や研修会を開催し、ボランティア等社会参加活動の普及・啓発・育成を推進する。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の目的に沿って、適切な運営管理を行っている。周辺地域の機関とも協力して多様な活動を行っており、地域活動を促進する役割も果たしている。</p> <p>今後も、引き続き実施するとともに、多くの住民に施設の活動を周知し、高齢者の福祉の増進に繋げてほしい。</p>	